

令和5年度 広域産業振興局 事業実施状況【中間報告(9月末見込み)】

〈戦略一覧〉

戦略① 関西の優位性を活かしたイノベーション創出環境・機能の強化

戦略② 高付加価値化による中堅・中小企業等の成長支援

戦略③ 個性豊かな地域の魅力を活かした地域経済の活性化

★ 関西を支える人材の確保・育成

戦略	事業名(担当課名)等	事業目的	事業概要	中間実績・課題、今後の方向性
① ② ③	関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業 関西スタートアップのポテンシャルの発信強化 (スタートアップ支援課) 〈事業実施期間〉 R3.4～R7.3 (通年) 〈事業開始年〉 R3	関西スタートアップ・エコシステムの魅力・ポテンシャル・将来性を国内外へ発信し、他エリアと差別化し、国内外の様々なリソース(スタートアップ、企業、人材、投資家、ベンチャーキャピタル等)の集積を可能とするブランドを確立することで、関西経済の活性化をめざす。	関西スタートアップ・エコシステム情報発信戦略に基づき、R5年度は次の事業を実施。 (1) 域内スタートアップの情報収集・スタートアップDBへの登録 関西地域のスタートアップをピックアップした後、STARTUP DBへの登録有無を照合し、未登録企業のチェック及び登録作業を実施 Crunchbase等海外有力データベースへの関西スタートアップの登録 (2) 国内カンファレンスやピッチイベント等での情報発信 スタートアップイベントを活用し情報発信。年3回開催予定 (3) Crunchbase等の海外メディアへの情報発信 海外メディアへの「掲載のされやすさ」を考慮した記事を作成し発信。年2回発信予定。 (4) 関西スタートアップ・エコシステムの情報発信イベントの開催 情報発信戦略の内容を踏まえ、関西の強み等を訴求するコンテンツを企画し情報発信する。年1回開催予定 (5) 関西スタートアップ・エコシステムポータルサイトの運営 等 構成府県市のポータルサイトの利活用促進及び本ポータルサイトの機能性等の向上を行う	〔中間実績〕 【目標】 (1)域内スタートアップの情報収集・スタートアップDBへの登録:220社、Crunchbase等海外有力データベースへの登録:205社 (2)国内カンファレンスやピッチイベント等での情報発信〔四半期毎〕 国内イベント「KANSAI Startup Night」(スタートアップピッチ、トークセッション)を開催 (3)Crunchbase等の海外メディアへの情報発信〔半期に一度〕 (4)関西スタートアップ・エコシステムの情報発信イベントの開催〔年に一度〕 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) (1)域内スタートアップの情報収集・スタートアップDBへの登録作業を進めている(◇) (2)情報発信イベント「KANSAI Startup Night」ほか 第1回 開催日:令和5年7月13日(◆) 開催場所:CIC Tokyo(リアルおよびオンライン) 第2回 開催日:令和5年9月7日(◆) 開催場所:CIC Tokyo(リアルおよびオンライン) 第3回 開催日:令和5年11月16日(◇) 開催場所:渋谷ヒカリエホール(オンライン) (3)36krにて「KANSAI Startup Night」の取材記事掲載(日本語、英語、中国語)(◆) Crunchbaseへ記事を寄稿予定(◇) (4)関西スタートアップ・エコシステムの情報発信イベント〔年に一度〕を開催予定(◇) 〔課題〕 WEBサイトのアクセス状況の分析 〔来年度以降の方向性〕 サイトアクセス情報の分析及びSEO対策を実施し、表示回数及びアクセス件数を増加させる 情報発信戦略(R4-6年度の3か年)の最終年度(事業実施とあわせて今後の方向性を整理)

戦略	事業名(担当課名)等	事業目的	事業概要	中間実績・課題、今後の方向性
① ② ③	ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化 (産業振興企画課、ライフサイエンス産業振興課) 〈事業実施期間〉 R5.10.11～13 〈事業開始年〉 R3	関西の強みであるライフサイエンス分野のポテンシャルを発信し、国内外における関西の認知度・存在感の向上を図ることにより、域内への投資、企業立地の促進につなげ、域内関連産業の振興を図る。	欧州を含む海外諸国や日本全国から参加がある「BioJapan」の場で、国内外に向けた情報発信やビジネスマッチングを支援する。 (1) 開催場所 パシフィコ横浜 (2) 出展対象 医薬・創薬、食品/農林水産/畜産、研究用機器・試薬・消耗品/設備など (3) 内容 ア 域内企業 参加 11社 パートナーリングシステムを活用したビジネスマッチング イ セミナー開催 関西のライフサイエンス分野のポテンシャル・認知度向上を目的としたセミナー 「メディカルジャパン」は、R5以降、参画見送り	〔中間実績〕 【目標】 「BioJapan」マッチング件数〔参加企業数×6倍以上〕 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) 「BioJapan2023」パートナーリング(オンライン)への参加、セミナーの開催(◇) ・広域連合域内企業11社が参加 ・関西のライフサイエンス分野のポテンシャル・認知度向上を目的としたセミナー 発表題目:調整中 講師:澤 芳樹氏 (大阪大学大学院医学系研究科保健学科 未来医療学寄附講座教授、大阪大学大学院医学系研究科名誉教授) 《BioJapan2023》 開催日:2023年10月11日(水)～13日(金) 開催場所:パシフィコ横浜 ※参考:BioJapan2022 出展社数 832社 来場者数 15,813名 〔課題〕 関西のポテンシャル発信と認知度向上 〔来年度以降の方向性〕 万博PRと合わせた発信による認知度向上の仕掛け・工夫

戦略	事業名(担当課名)等	事業目的	事業概要	中間実績・課題、今後の方向性
①	医療機器分野への参入に向けた医療機器相談の実施 (ライフサイエンス産業振興課) 〈事業実施期間〉 通年 〈事業開始年〉 H25	医療機器開発段階で生じる企業等の様々な相談ニーズに応じるための相談窓口を設置し、専門家による相談対応を行うことで、ものづくり企業の医療機器分野への参入促進を図る。	医療機器相談を行う窓口を設置し、企業等からの相談への対応及び専門機関の紹介等を行う。 (1) 対象企業 関西広域連合域内(奈良県を除く)に事業所を有する又は事業所を開設する予定のある企業・法人等 (2) 対象事項 医療機器の開発から事業化に至るまでの過程で生じる課題 ア 企画・知財・市場調査等開発に関すること イ 開発製品の医薬品医療機器等法上の取扱い及び承認手続きに関すること、生産体制、販路開拓、保険収載等に関することなど ウ その他、上記以外の医療機器開発に関すること (3) 相談場所及び日時 ア 大阪商工会議所、大阪イノベーションハブ+オンライン イ 原則、毎週木曜日 10～17時 (年末年始・祝日を除く)	〔中間実績〕 【目標】 相談件数:250件以上 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) 相談件数:114件(8月末時点)(◇)
				〔課題〕 関西広域連合で取り組む必要性が乏しい 〔来年度以降の方向性〕 廃止

戦略	事業名(担当課名)等	事業目的	事業概要	中間実績・課題、今後の方向性
①	「カーボンニュートラル研究成果事業化促進フォーラム」の実施 (グリーン産業振興課) 〈事業実施期間〉 R5.12.4 〈事業開始年〉 H25	関西が高い産業ポテンシャルを有するグリーン分野において、域内を中心とした大学・研究機関等の研究成果を域内の企業に広く発信し、シーズの事業化を促進する。	水素・燃料電池、蓄電池等の「カーボンニュートラル」に資する技術をテーマとし、域内の大学、研究機関等の研究者による発表と、実用化を目指す最新の研究成果を紹介し、参加者とのマッチングを目指す。 (1) 開催場所 大阪工業大学 梅田キャンパス (2) 対象者 水素・燃料電池、蓄電池等の関連市場への新規参入、自社技術の新たな展開を望む企業及び産学連携や企業支援を推進する関係団体 (3) 内容 ア 特別講演:カーボンニュートラル関係 1講演 イ 研究成果発表:水素・燃料電池関係等 計6本 ウ 名刺交換会・情報交換	〔中間実績〕 【目標】 「カーボンニュートラル研究成果事業化促進フォーラム」の実施 ・参加者:200人以上 ・マッチング件数:フォーラム発表数(6人)の6.1倍以上 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) 「カーボンニュートラル研究成果事業化促進フォーラム」の開催(◇) 開催日:令和5年12月4日 開催場所:大阪工業大学 梅田キャンパス OIT梅田タワー常翔ホール ※会場に参加者を受け入れながら、WEBで同時配信する予定。 内容:「水素・燃料電池、蓄電池等のカーボンニュートラルに資する技術」をテーマとした研究成果発表会、特別講演 等 特別講演講師:パナソニックホールディングス株式会社 技術部門 プラットフォーム本部 統括部長 大隅 慶明 氏 〔課題〕 — 〔来年度以降の方向性〕 カーボンニュートラルは引き続き注力すべき分野であり事業継続

戦略	事業名(担当課名)等	事業目的	事業概要	中間実績・課題、今後の方向性
① ②	関西広域産業共創プラットフォーム事業 関西の産業力強化を目的とした広域的プラットフォーム構築 (ものづくり支援課、産業振興企画課) 〈事業実施期間〉 R4.11～R7.3 (通年) 〈事業開始年〉 R4 ※「産業技術支援フェア in KANSAI」は、R2年度、かんさいラボサーチはR3年度から	公設試や大学、産業支援機関、金融機関など様々な機関が連携し、入り口(研究シーズ、市場ニーズ)から出口(事業化)までシームレスに企業を支援する広域的なプラットフォーム「関西広域産業共創プラットフォーム」を構築し、イノベーションが生まれる環境の創出を図る	〔背景〕 これまで関西広域連合域内の公設試について集約・検索機能も備えた情報発信、バーチャルで一体的に見せる視点によるポータルサイト「かんさいラボサーチ」の構築などの取り組みを行ってきたところだが、さらなる事業化支援の取組の充実が求められている。 〔事業概要〕 (1) 企業ニーズに応える事業化支援強化事業 ア 企業相談対応 令和4年11月、統括ディレクター1名、連携コーディネーター7名、公設試の長及び実務担当者などにより構成されるセンター機能を立ち上げ、ものづくり支援課を事務局として、相談受付を開始 ※令和5年9月末現在:統括ディレクター1名、連携コーディネーター9名 イ ポータルサイト「かんさいラボサーチ」の運営 「かんさいラボサーチ」上に上記アの専用HPを設定 ウ 産業技術支援フェア ・開催日:10月13日 ・開催場所:大阪産業創造館 ・内容:パネル展示、講演会、ミニシンポジウム (2) 広域的プロジェクト組成に向けた調査事業 社会課題の解決に寄与する広域的プロジェクト組成候補を調査 (3) 公設試・連携機関との連携促進のための活動・PR等 域内公設試の合同見学・交流会を実施するとともに、本プラットフォームを幅広くPR	〔中間実績〕 〔目標〕 ・本プラットフォームの利用件数100件以上 ・本プラットフォームを利用した企業の利用満足度80%以上 ・「かんさいラボサーチ」アクセス件数:23,000件以上 〔進捗〕(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) (1) 企業ニーズに応える事業化支援強化事業(◇) ・本プラットフォームの利用件数40件(9月末時点見込) ・ポータルサイト「かんさいラボサーチ」のアクセス件数:13,000件(9月末時点見込) ・コンテンツの充実:公設試の研究成果による製品化事例をわかりやすく紹介した「ショーケース」ページを追加(◆) ・産業技術支援フェア in KANSAI 2023 -ものづくり×「いのちをつなぐ」-(◇) 開催日:令和5年10月13日 開催場所:大阪産業創造館 (2) 広域的プロジェクト組成に向けた調査事業(※委託事業)(◇) 公募型プロポーザルにより受託業者がリンカーズ(株)に決定 (3) 公設試・連携機関との連携促進のための活動・PR等(◇) (◆)開催日:令和5年6月27日 開催場所:京都市産業技術研究所 (◇)開催日:令和6年1～2月 開催場所:兵庫県立工業技術センター 〔課題〕 ・事業の認知度向上 ・持続可能な仕組み・体制の確立 〔来年度以降の方向性〕 ・構成府県市と連携したPR ・関係機関等と今後のあり方について協議 ・R4-6年度までの3年間での事業設計 (毎年度事業検証しながらブラッシュアップ)

戦略	事業名(担当課名)等	事業目的	事業概要	中間実績・課題、今後の方向性
②	関西プラスチックごみ ゼロ推進事業 (産業振興企画課) 〈事業実施期間〉 R5. 9. 8 〈事業開始年〉 R2	プラスチックに代わる 素材や製品の開発に 向けた情報提供や研 究開発支援、新たに創 出された製品の販路 拡大支援等、産業振興 の側面からの取組によ り、プラスチックごみ 対策の先進地域・関西 の確立をめざす。	2030年までの国際目標として国連で採択された持続可能な開発目標 (SDGs)の17の目標のうち、ものづくりと関係性の深い目標項目に絞った 展示商談会を開催。 事業名:「SDGs対応技術展2023」 開催日:9月8日 開催場所:大阪産業創造館 対象者: プラスチック代替製品など、SDGsに関わる新たな事業の創出や他社と の新たな製品の開発を望む企業など 参加事業者:52社	〔中間実績〕 【目標】 展示会等の総来場者数:760人以上 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) 「SDGs対応技術展2023」の開催(◆) 開催日 :令和5年9月8日 開催場所:大阪産業創造館 3F・4F 出展企業:52社 その他 :当日の取材(業務委託)の様子を後日HPへアップ予定
				〔課題〕 事業名称と内容の不一致 (SDGs対応技術は幅広く、プラスチックにフォーカスできていない) 〔来年度以降の方向性〕 ・共催機関と協議の上、廃止 ・連合としては、プラスチック代替品関係のチャレンジ事例を情報発信

戦略	事業名(担当課名)等	事業目的	事業概要	中間実績・課題、今後の方向性
②	企業のICT化等の取組み推進に向けた情報発信機能の強化 (産業振興企画課) <事業実施期間> R5.8～R6.3 <事業開始年> R3	企業のICT化の取組みを推進するための支援情報等、ニューノーマルな時代に必要な情報をセミナー等を通じて発信し、中小企業等の成長を支援する。	〔背景〕 新型コロナウイルス感染症を踏まえた関西の元気回復に向けて、新しい生活様式への転換や新型コロナウイルス感染症との共存を見据えた、関西経済の活性化対策や社会経済活動の維持・強化に向けた取組が必要であるとの課題認識(令和2年8月連合委員会にて協議・確認)から事業化。 〔事業概要〕 企業にとって有用な情報の発信強化のため、企業のICT化の取組み推進等、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の新たなビジネス戦略をテーマとするWEBセミナーを開催する。 (1) 開催日 令和5年8月24日 (アーカイブ配信:令和5年9月8日～令和6年3月31日) (2) 対象者 中小企業、中小企業支援機関等 (3) 内容 IoT導入先進企業事例の紹介、デジタル化による生産性向上、DXの必要性と効果 等	〔中間実績〕 【目標】 WEBセミナー視聴回数:1,000回以上 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) 先進企業事例やDXの必要性等についてセミナーを開催(◆) 開催日:令和5年8月24日 (アーカイブ配信:令和5年9月8日～令和6年3月31日) 内容:①「なぜDXが必要なのか? 経営判断のためのリテラシー」 ②「ChatGPTの事業活用と知っておくべきリスク」 ③「AI-OCR・RPA連携による紙帳票を扱う業務の自動化」 ④「誰でも簡単に作れる! Google Sitesを活用して、1時間で社内掲示板(ポータルサイト)を作ってみよう!」 対象:中小企業、中小企業支援機関 等 〔課題〕 — 〔来年度以降の方向性〕 時宜にかなったテーマによるセミナーを柔軟、機動的に実施するため、下記「広報活動やセミナー等による情報発信」予算に集約(一本化)

戦略	事業名(担当課名)等	事業目的	事業概要	中間実績・課題、今後の方向性
② ③	ものづくりをはじめとする地域魅力の発信(国内プロモーションの実施) (産業振興企画課) 〈事業実施期間〉 R5.12.16～R6.1.15 〈事業開始年〉 H29	関西が有するものづくりをはじめとする産業資源や世界遺産などの観光資源、歌舞伎や文楽などの歴史・文化資源などの魅力を発信し、広くその認知を進める。	CRAFT14(関西広域連合が認定する域内のデザインや実用性に優れた製品)をはじめとする域内の製品の展示・販売を実施するとともに、装飾や動画等により産業資源などの関西の魅力を発信する。 開催場所:有楽町マルイ 対象者:ものづくり企業 内容:広域連合域外(首都圏)において、関西が有する産業・技術等のPR・プロモーションを行う。 ア 域内ものづくり企業の製品の展示・販売、ワークショップ イ デジタルサイネージを活用し、ものづくりをはじめとする関西の魅力の発信 参加事業者:22社	〔中間実績〕 【目標】 来場者数:17,000人以上 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) 株式会社丸井(有楽町マルイ運営)との連携によるプロモーションイベントを開催(◇) CRAFT14(関西広域連合が認定する域内のデザインや実用性に優れた製品)をはじめとする域内の製品の展示・販売を実施するとともに、装飾やSNS、デジタルサイネージ等により産業資源をはじめとする関西の魅力を発信する。 開催日:令和5年12月16日～令和6年1月15日 開催場所:有楽町マルイ 〔課題〕 首都圏での催事の場合、その場に来場した人にしか知ってもらうことができず、国内に広くプロモーションできない。 広域観光・文化・スポーツ振興局等と連携した関西域内への呼び込み・周遊につながる仕掛けの検討 〔来年度以降の方向性〕 調整中

戦略	事業名(担当課名)等	事業目的	事業概要	中間実績・課題、今後の方向性
② ③	ものづくりをはじめとする地域魅力の発信 (海外プロモーションの実施) (経済交流促進課) 〈事業実施期間〉 【ロサンゼルス及びオンラインストア】 R5.10.1～R6.2.29 〈事業開始年〉 H29	関西が有するものづくりをはじめとする産業資源や世界遺産などの観光資源、歌舞伎や文楽などの歴史・文化資源などの魅力を発信し、広くその認知を進める。	新型コロナウイルス感染症の影響により、計画的な海外展開が実施しづらい状況となったことで、これまでの“人の往来”を前提としたプロモーションは実施困難と判断。令和2年度より、現地ネットワークを活用した、参加事業者が日本にいながらにして実施可能なプロモーションを実施。 海外において、域内企業の海外販路開拓を支援する。また、関西が有する産業・技術等のPR・プロモーションを行う。 (1) 対象者:ものづくり企業 (2) 内容: アメリカ・ロサンゼルスに所在する「和技WAZAショップ(JAPAN HOUSE Los Angeles内)」において、関西広域連合ブースを出展する。また、併せてオンラインストアにおける製品の展示・販売や、現地でのイベントの開催を予定。 (3) 参加事業者:12社	〔中間実績〕 【目標】 オンラインストア 関西広域連合ブランドページへのアクセス数:17,500件以上 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) 海外産業プロモーション事業の実施(◇) 事業期間:令和5年10月1日から令和6年2月29日 内容:アメリカ・ロサンゼルスでの展示会及びオンラインストアへの出展支援等を行うことで、域内ものづくり企業の海外販路開拓を支援 ※出展期間中に2日間程度のイベントを実施予定 〔課題〕 関西の産業振興、認知度向上につながる工夫 〔来年度以降の方向性〕 R4-6年度までの3年間での事業設計 (毎年度事業検証しながらブラッシュアップ)
② ③	ものづくりをはじめとする地域魅力の発信 (CRAFT14等の情報発信) (ものづくり支援課) 〈事業実施期間〉 通年 〈事業開始年〉 H25	関西が有する資源の産業化を推進するため、デザインや実用性に優れた地域の工業製品などを広く国内外に発信する。	デザインや実用性に優れた地域の工業製品を「CRAFT14」として認定し、カタログ冊子やホームページにて広く発信する。	〔中間実績〕 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) ・CRAFT14 HP公開、カタログ配架(◇) ・CRAFT14 HPアクセス件数:1,218件(9月末見込)(◇) 〔課題〕 HPアクセス数の伸び悩み 〔来年度以降の方向性〕 国内プロモーション事業におけるイベントを活用した情報発信とあわせて今後の方向性を整理

戦略	事業名(担当課名)等	事業目的	事業概要	中間実績・課題、今後の方向性
★	人材確保・育成に関するセミナー開催 (産業振興企画課) 〈事業実施期間〉 R5.10～11頃 (予定) 〈事業開始年〉 R元	域内企業の人材確保・育成の取組につなげることを目的とし、独自の社員教育や先進的な人材確保の取組を実施する企業の事例を紹介するセミナーを開催する。	企業の人材確保・育成に資する情報を発信するオンラインセミナーの実施。 (1) 対象者 域内中小企業の経営者・人事担当者等	〔中間実績〕 【目標】 ・視聴者数:200人以上、 ・視聴者満足度:75%以上 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) ・テーマは現在検討中(◇) ・開催形式については、オンラインを予定 ・開催時期は11月～12月予定 〔課題〕 企業ニーズの高いテーマの選定 〔来年度以降の方向性〕 時宜にかなったテーマによるセミナーを柔軟、機動的に実施するため、下記「広報活動やセミナー等による情報発信」予算に集約(一本化)

戦略	事業名(担当課名)等	事業目的	事業概要	中間実績・課題、今後の方向性
★	広報活動やセミナー等による情報発信 (産業振興企画課) 〈事業実施期間〉 通年 〈事業開始年〉 ー ※「from NOW ON KANSAI」の発行はR2から	広域産業振興局や構成府県市の取組を域内外に向けて発信するとともに、関西広域連合の認知度・存在感の向上を図る。 また、関西広域連合域内の中堅・中小企業に有益な情報誌やセミナーを通じて発信する。	当局や構成府県市の施策、関西の産業情報等を域内外に向けて、最新情報の提供を行う。 (1)広報活動の実施 広域産業振興局や構成府県市の施策、関西の産業情報等について、ホームページやメールマガジンの発行および広報誌等の作成により、域内外に向け、最新情報の提供を行う。 (2)ビジネス情報誌「from NOW ON KANSAI」の発行等による情報発信 人材関連の取組やスモールビジネスの好事例を収集した情報「from NOW ON KANSAI」を年4回発行する。 ア 配布先:構成府県市、経営支援機関や公設試、商工会・商工会議所、金融機関など イ 発行部数:9,000部 ウ 内容:全4回発行 うち、人材関連情報 2回 スモールビジネスモデル 2回 (3)セミナーの開催 企業のICT化の取組みの推進や、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の新たなビジネス戦略等をテーマにセミナーを開催する。	〔中間実績〕 【目標】 広域産業振興局HPアクセス件数:30,000件以上 情報紙読者の満足度:75%以上 WEBセミナー視聴者数:1,000人以上 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) (1)情報発信 ・広域産業振興局HPアクセス件数:10,300件(9月末見込)(◇) ・関西広域連合広域産業振興局NEWS(メールマガジン)を配信(月2回)(◇) ・プレスリリース:6件(SDGs対応技術展2023出展企業募集、同来場者募集、DXセミナー、令和5年度第1回「関西広域産業ビジョン」推進会議、海外産業プロモーション、産業技術支援フェア)(◇) ・メールマガジンと連動した、SNS(Facebook、Twitter、Instagram)を活用した各種情報発信(◇) ・産業クラスター・ファンド等情報提供 産業クラスター情報の更新(4月)(◆) 産業振興関連ファンド情報の更新(4月)(◆) 産業用地情報の更新(4月、7月)(◆) (2)from NOW ON KANSAI」の発行(◇) ・第10号(人材確保の取組事例紹介(8月取材、9月末ごろ発行予定)) ・以降の発行予定 第11号 11月下旬 第12号 令和6年1月下旬 第13号 // 3月下旬 〔課題〕 ー 〔来年度以降の方向性〕 ・経常的経費 ・「from NOW ON KANSAI」については、引き続き、域内における好事例(リーディングケース等)を広く発信 ・時宜にかなったテーマによるセミナーの実施